



日差しや雨をしのげる屋根部分と吹抜け部分があるテラスは、もう一つのリビングとして活躍。夏は吹抜けにタープを張って過ごす

File 1 桜を眺めるアウトドアリビングで 外の開放感を味わう

● 兵庫県 K邸

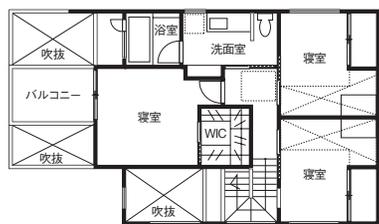
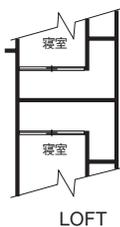




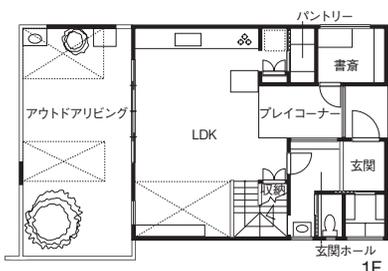
アウトドアリビングからの光と吹抜けのハイサイドライトで、LDKはたっぷりの明るさ。飾り棚や階段下収納にも木の質感を生かした

DATA

家族構成：夫(40代)、妻(40代)、
長男(中学生)、次男(幼稚園児)
延床面積：106.45㎡
設計：seki.design



2F



1F



連続するデザインで
内外をつなぐ

「ただいま!」帰宅すると、目に飛び込んでくるのは、リビングの向こうに広がる満開の桜や萌える若葉。四季折々の自然の表情が、家族やゲストを迎えてくれる。

「以前の住まいは住宅密集地で、日差しが入らなかったので、子どもが先に帰ってきてても安心できる明るい家にしたかった」とKさん。川沿いの桜並木が見える立地に、広いテラスがある家を建てた。テラスに大きな開口のある外壁を設けたことで、プライバシーを守りながら、外の景色が取り込め、LDKの窓を全開にすれば、圧倒的な開放感。アウトドアとリビングとが一体の大空間になる。

キッチンのブルーグレーのタイルやリビングの天井の装飾を、屋内外に連続させ、空間の一体感を演出。夫がアウトドアリビングのソファで横になって本を読んでいる近くで、子どもたちがリビングでゴロゴロしていたらいつの間にか外に出ていたということも。バジルやトマトを育てたり、卓球台を広げて家族で打ち合いをしたりと、広いアウトドアリビングは、外の気持ちよさと内の安心感に浸れるマルチ空間だ。



1 道路に面した窓は一つもなく、屋内の明るさは想像もつかない。家のシルエットと入り口を呼応させた印象的なデザイン 2 玄関ホールからフィックス窓越しに、アウトドアリビングの先まで視線が伸びる。夜空に浮かぶ満開の桜はまさに花あかりのよう 3 開口部には幅3.6m高さ2.5mのフルオープンサッシを配し、ウッドデッキもイタウバ材をリビングのフローリングと同じ方向に敷くことで、つながりを感じさせる空間に 4 アウトドアリビングには壁をたてているため、外部の視線を気にせずソファでくつろげる

